

こんにちは！

回覧

西箕輪保育園です



平成 28 年 2 月 20 日

地域の皆様こんにちは！日頃は大変お世話様になっております。立春も過ぎ、春の訪れが楽しみな今日この頃です。保育園では、年度末を迎え一年間の子どもの成長を振り返りながら、一日一日を大切に過ごしています。

日々の保育の中で



子どもたちは、毎日の遊びの中で、いろいろな活動を通し学んでいます。自分から『試してみよう』『挑戦してみよう』『工夫してみよう』と、“人”“物”“自然”にかかわる中で生きる力を育てています。

雪が降ると西箕輪の園庭は、スキー場に変身します。広いグレンデには、初級者コースから上級者コースまで、いくつものそりコースが出来ます。そこで遊ぶ子どもたちの姿をちょっとご紹介します。

そり遊びが初めての年少さん、『一人じゃ怖いな・・・そだ、先生と一緒に滑ってもらおう』と大好きな先生と一緒に滑って安全を確かめ、一人で滑る勇気をもらいます。一人で滑るのにすっかり慣れた年中さん、『友だちと一緒につながって滑ったらどうだろ・・・』と友だちを誘い2人乗り3人乗りで滑ります。友だちと一緒にがうれしい年中さん。そして、1人よりスピードが出ることを知り、そのスピード感を満喫します。年長さんは、上級コースもすっかりマスターし、ジャンプ台を作ったり、立ってスノーボードのように乗ったりと工夫して楽しんでいます。そして、何より素敵な姿は、年齢の枠を超え年長さんが年少さんを誘って滑ってくれたり、年長さんの遊びをまねて楽しむ年中さんの姿が有ったり・・・自然なかかわりの中で、遊びの伝承、思いやり、人の役に立ててうれしい気持ちなどが育ちます。西箕輪保育園のグレンデは、子どもの育ちに最高の場所です！！通りかかったら、ぜひのぞいてみてくださいね。



行事を通して



冬の大きな行事として『たのしいあつまり（年中年長）』『かわいいあつまり（年少未満児）』を経験しました。これは、昔で言う学芸会です。歌や合奏、劇遊びをお母さんやお父さん、おじいちゃんやおばあちゃんに見ていただきました。たくさんのお客さんの前で、歌ったりセリフを言ったりすることは、とても勇気がいりますが、その経験を通し人前で話すことへの自信につながります。また、クラスみんなでイメージを共有し、一つのものを作り上げることは、友だちとのきずなが深まったり、やり遂げた達成感を感じ大きな成長につながります。



2歳児さんの発表より

地域の皆さんとの交流

メの子作り



みはらしファームの方々のご協力をいただき、年長さんがメの子作りに初めて挑戦しました。それぞれの願いを書いた短冊を付け出来上がり。みはらしファームに飾っていただいた後、どんど焼きでもやし、願いがお空に届きました。



お餅つき大会



「保育園を育てる会」の方にお手伝いしていただき、本物の杵と臼でお餅つきをしました。ぺったん、ぺったん・・・時々、臼をたたいたりしつつ。つきたてのお餅は最高においしかったです。

羽広の獅子舞



「羽広の獅子舞保存会」の方々が1月の誕生日祝いに駆けつけてくださいました。「お獅子に頭を噛んでもらうと、いいことがあるって」とのこと、怖いけど頑張った子どもたちです。今年はきっと良いことがあるね。



鬼が来たー！

2月に入ってすぐに、「良い子にしているか見に行くぞ！」と鬼からの手紙が保育園に届きました。大きな手形入りの手紙とあり、子どもたちはびくびく…。そして、約束通り大きな鬼（信大生）が、子どもたちに会いに来てくれました。迫力ある鬼のおかげで、自分たちの心の中の悪い鬼を追い払うことができました。



感謝の気持ちを込めて・・・



一年間、地域の皆様には、何度も保育園へ足を運んでいただき、お手伝いをしていただいたり遊んでいただいたりしました。感謝の気持ちを込め、感謝祭を開きました。歌を聴いていただいたり、手作りのプレゼントを受け取っていただきました。ありがとうございました。

